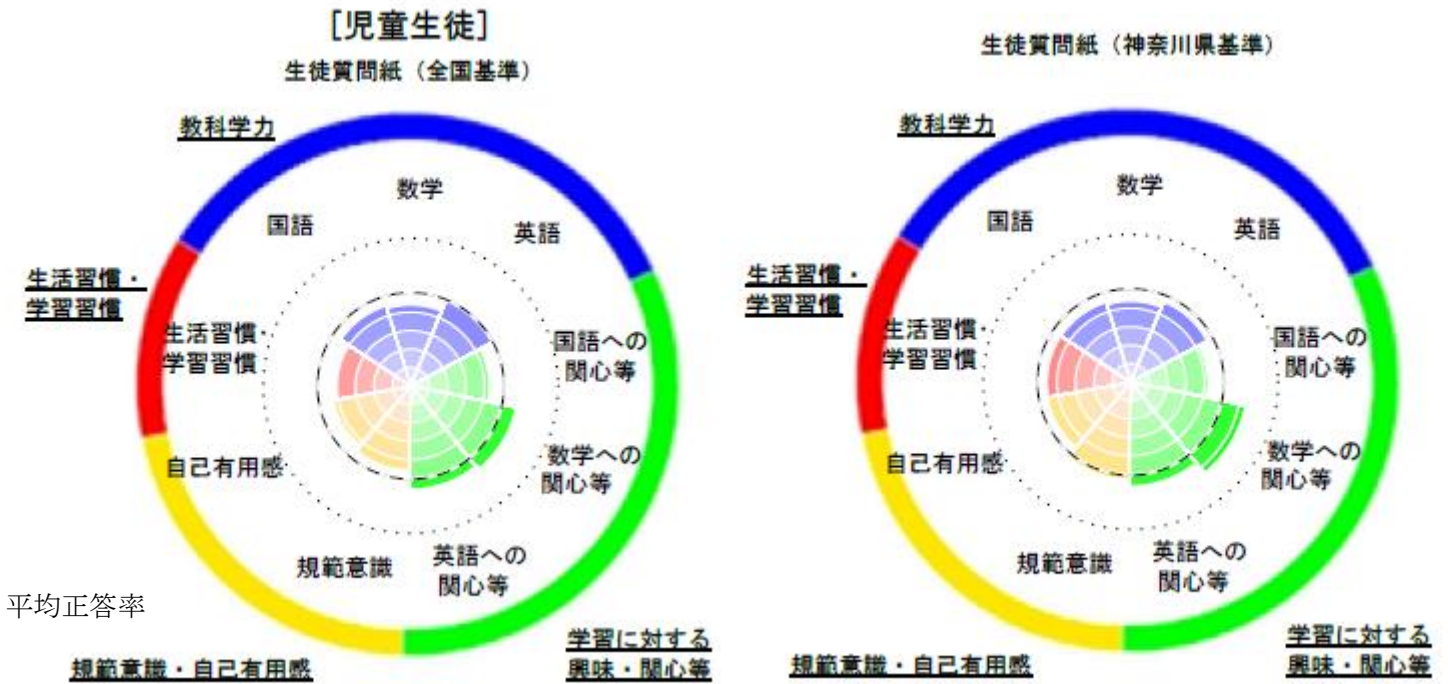


平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年4月に中学3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果の概要を報告いたします。



	国語	数学	英語
上永谷中	6.9	5.3	5.6
横浜市	7.3	6.0	6.0
神奈川県	7.3	5.9	5.9
全国	7.3	6.0	5.6

【平均正答率%】

《国語》

知識については全国平均を下回っていますが、書く能力を問う問題が比較的解けています。

《数学》

数学への関心等は全国平均を上回っており、図形の領域以外では全国平均をやや下回り、特に関数の領域に課題が見られます。継続して数学的な技能の向上を目指していきたい。

《英語》

本校は、全国平均と同等の平均点である。しかし、横浜市、神奈川県の平均点は下回っている。全体的な傾向として、英語を聞いて理解する、英文を読んで理解する問題は比較的解けているが、英語で表現する（与えられた情報に基づいて英文を書く、自分の考えや意見を英文で書くなど）問題に課題が見られる。今後も、英語で積極的に表現する素地を養うような授業創りを意識して行っていきたい。

*生活習慣・学習習慣

(生徒質問用紙調査結果から読み取れる本校の生徒の傾向について、全国や神奈川県と比較して特色のあるものだけを抜粋してあります。)

- ・英語の授業で学習したことは将来に役立つと答えている生徒が多い。英語への興味や意欲は全国・神奈川県よりも高い。
- ・数学の関心等が全国平均に比べて高く、授業内容も良く理解していると答えている生徒が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒が全国、神奈川県平均より下回っている
- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていると思う生徒が全国平均より多い。
- ・月曜日から金曜日など平日に、2～3時間以上勉強をしている生徒が比較的多い。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある生徒が7割以上いる。
- ・全国・神奈川県と同じように新聞はあまり読まないが、テレビ、インターネット、スマートフォンで情報を集める生徒が多い。

まとめ

学力的には設問によって課題があるものも多く、全体的に神奈川県や全国の平均を下回っています。関心は、数学・英語は全国平均に比べて高く、授業内容も良く理解している。今後の全体的な授業の改善点については、教師が授業のはじめに目標を示したり、授業内容を振り返る活動を取り入れたりすること、生徒同士で話し合う活動や教え合いの活動の中で、自分の考えを発表する機会をもうけたりするなどの取り組みが必要です。粘り強く取り組む姿勢を育てていきます。また、地域のボランティア活動へは、今後とも積極的に参加を促し、地域と共に生徒を育てていきます。